

3 英語英米文学科の教育課程紹介

英語英米文学科のカリキュラムは「読む・書く・聞く・話す」の英語運用能力を培い、批判的思考能力や問題発見解決能力を身に付け、最終的に専門領域の探求ができるように配置されています。

この目的のため、英語英米文学科では1年次より4年次まで、セミナーをカリキュラムの中心に据える、4-year Seminar Systemとしています。考えて発表するアクティブ・ラーニング形式のセミナーにすべての学びが反映されることで、学習効果を実感しながらステップアップしていきます。具体的には、以下のセミナーを展開しています。

1年次：Seminar for Cultural Literacy (SCL) 世界問題をCLILで学びます。

1年次：Seminar for Critical Thinking (SCT) TOKの枠組みで議論を行います。

2年次：Seminar for Core Subjects (SCS) 主要科目について英語で議論します。

3年次：Junior Seminar 選択必修で半期に2科目ずつ、専門の基礎を学びます。

4年次：Senior Seminar 選択必修で半期に1科目選び、卒業論文を完成させます。

*CLIL: Contents and Language Integrated Learningのことで、英語で様々なトピックについて学習する理論のことで。

*TOK: Theory of Knowledgeのことで、国際バカロレアの必修科目となっている、「知識を正しく理解し、使用するための枠組み」のことで。

英語の4技能を中心に学習する英語運用科目と並行して、英語音声学、英米文学通史講読、英米文学発展講読、英文法、英語学概論、英語史などの主要科目、さらには日本語教育関連科目や文化・思想についての周辺科目を網羅的に学びます。学科の指定した留学先で取得した単位を振替えることのできるStudying Abroadも特色のある科目です。共通科目や学部共通科目と合わせて、教職課程にも対応したカリキュラムとなっています。

本学科は卒業論文を課しており、研究計画を立てて自主的に取り組むことが期待されています。Junior Seminar及び卒業論文の指導（Senior Seminar）担当者一覧は以下の通りです。

村尾 治彦	英語学
萱嶋 崇	英語学
レイヴィン・リチャード	英語教育
吉井 誠	英語教育
武上 富美	英語教育
田中 和也	英文学
吉田 希依	米文学
難波 美和子	比較文学
原 紘子	異文化コミュニケーション

【英語英米文学科の卒業要件単位数、開講科目一覧表及び履修上の注意】

- ① 33頁の「卒業要件単位数」表の専門科目の部分を詳細に説明したものが35頁の「英語英米文学科カリキュラムの概要」です。履修上の注意を参考によく読んで、単位の取り落としのないように気をつけてください。
- ② 教員免許関係の科目・単位については当該頁を参照してください。

(1) 英語英米文学科の進級要件

- ア 2年次までに、合計50単位以上修得しなければ3年次に進級できません。
- イ 卒業論文の履修資格は、卒業予定年次の前年度末において共通科目群及び専門科目群から合計80単位以上を修得した者に与えられます。

(2) 英語英米文学科の卒業要件

4年以上在学し、次の単位数以上を習得しなければなりません。

区分	分類	分野			卒業要件単位数		
					必修単位数	選択必修単位数	選択単位数
共通科目群 a	基盤科目	外国語	Basic English I、II	b	2	—	※その他の単位 (左の他に2単位を修得)
			英語以外の外国語	c	—	6	
			bとc以外の科目 (Basic English 以外の英語科目)	d	—	—	
		健康スポーツ科学	e	2	1		
		情報処理とデータサイエンス	f	6	—		
		キャリアデザイン	g	2	—		
		地域理解とリーダーシップ	もやいすと(地域)ジュニア育成 もやいすと(防災)ジュニア育成	h	—	2	
			新熊本学	i	—	2	
			hとi以外の科目	j	—	—	
	教養科目	人間と文化	k	—	2		
		自然と環境	l	—	2		
		社会と世界	m	—	2		
	小計(A)					12	17
					31		
専門科目群 ①	人文基礎		②			4	左の他 8単位を修得
	主要科目		③	36	12		
	学部共通科目		④		8		
	演習		⑤		8		
	特殊研究		⑥		4		
	卒業論文		⑦	6			
	小計(B)					42	36
					86		
自由選択単位ア	共通科目(Aを超える単位)			イ			8
	専門科目(Bを超える単位)			ウ			
	他学部・他学科の専門科目			エ			
小計(C)							8
合計(A)+(B)+(C)					125		

『共通科目群』

- a 必修科目12単位、指定された選択必修科目17単位、それ以外に共通科目群の選択科目より2単位(その他の単位:共通科目群 a の※部分)の合計31単位以上を修得すること。
- b 英語は「Basic English I」「Basic English II」の2科目2単位を必修とする。
- c 英語以外の外国語は、ドイツ語、フランス語、中国語及び韓国語(それぞれ入門A I、入門A II、入門B、基礎、発展I、発展II)から1言語6単位以上を選択必修。文学部の学生は1年次前期で「入門B」を、後期で「基礎」を履修すること。
- d bとc以外の外国語を修得した場合はその他の選択単位(2単位中)もしくは自由選択単位ア(8単位中)のイに含む。
- e 「健康の科学」は必修とし、「生涯スポーツ実習I」「生涯スポーツ実習II」から1科目1単位を選択必修とする。
- f 「情報処理入門」「データサイエンス入門」「データサイエンス演習」は必修とする。
- g 「プレゼミナール」「キャリア形成論」は必修とする。
- h 「もやいすと(地域)ジュニア育成」「もやいすと(防災)ジュニア育成」から1科目2単位を選択必修とする。
- i 新熊本学は4科目8単位から1科目2単位を選択必修とする。
- j 地域理解とリーダーシップのhとi以外の科目を修得した場合はその他の選択単位(2単位中)もしくは自由選択単位ア(8単位中)のイに含むことができる。
- k, l, m 各分野からそれぞれ1科目2単位以上を選択必修とする。

『**専門科目群**』①は、②人文基礎中の4単位、③主要科目中の必修科目36単位、主要科目中の選択必修単位12単位（英語学、英米文学、英語教育からそれぞれ1科目以上を履修すること）、④学部共通科目中の8単位、⑤3年次に開講のJunior Seminar（演習科目）中、I・II各4単位、計8単位、⑥4年次に開講のSenior Seminar（特殊研究）中、I・II各2単位、計4単位並びに⑦卒業論文6単位を含む、合計86単位以上を修得すること。なお、②～⑦を合わせると78単位であり、専門科目群の必要単位数86単位には不足する。この足りない8単位は、専門科目群のいずれからでも選択できる。

『**自由選択単位**』アは、共通科目群の必要単位数31単位と専門科目群の必要単位数86単位を合わせても117単位であり、卒業に必要な単位数の125単位に不足する。この足りない8単位を、自由選択単位として、イ、ウ、エいずれからでも選択できるようにするものである。

イ 共通科目群の必要単位数31単位を超えて修得した単位数。

ウ 専門科目群の必要単位数86単位を超えて修得した単位数。

エ 所属学科の専門科目群に含まれていない他学部・他学科の専門科目の単位。（履修方法等は38頁の「他学部・他学科開講科目の履修について」を参照。）

・主要科目については36単位が必修、12単位が選択必修科目となっています。選択必修科目群は以下の通りです。ここから6科目を履修します。ただし、必ず英語学、英米文学、英語教育の分野について、それぞれ1科目以上履修義務があります。

英語音声学Ⅰ

英語史

英語学特別講義Ⅱ

英語教育特別講義Ⅰ

英米文学発展講読A

英米詩概論

英文学特別講義Ⅰ

米文学特別講義Ⅰ

Studying AbroadⅠ

英語音声学Ⅱ

英語学特別講義Ⅰ

英語教育講義

英語教育特別講義Ⅱ

英米文学発展講読B

英米文学多読入門

英文学特別講義Ⅱ

米文学特別講義Ⅱ

Studying AbroadⅡ

・Studying Abroadは、該当する留学プログラム（オンラインを含む）について、授業時間数や内容を考慮して単位として認める科目です。原則として協定校（英語圏あるいは英語を使用する海外の大学）とSAF（Studying Abroad Federation）の提供するプログラムとなります。Studying Abroadとして認定できる単位は最大4単位で、「主要科目」の選択必修科目12単位のうちに含めることができます。

・Seminar科目（1～4年次）は再履修が困難なものもあります。確実に合格できるように万全を期しましょう。

・Junior Seminarは、各学期4単位を超えて履修することも可能です（受け入れ人数をオーバーしていない場合）。その場合は、学部共通科目として卒業要件単位に含めることができますが、事前に教務委員に相談してください。

・「卒業論文」という科目を卒業年次に履修登録する必要があります。この科目は多くの科目と異なり「通年科目」であり、特に履修登録時に注意が必要です。